

岐阜県教販通信

No.0024

GIKYO HAN TIMES

2022 年月発行

エンジン 01

当社は岐阜県の全小中高校に 100 年以上教科書を供給し続けてきてまして 2021 年度に、「スクールイーライブラリー」進呈させて頂きました。電子図書によって新しい読書の機会を与えることで深い学びにつながる一助となれと思います。スクールイーライブラリーの詳細情報は当社 HP (<http://www.gifukenkyohan.co.jp>) のバナーでご確認もできます。読書感想文コンクールご参加ありがとうございました。発表は当社 HP (<http://www.gifukenkyohan.co.jp>) 11 月 1 日になります。よろしくお願いいたします。



寺脇 研 氏

寺脇研(てらわき けん、1952 年～)元文部官僚。星槎大学大学院教育学研究科客員教授。官僚時代には文部省 NO.1 の論客でならし、ゆとり教育の広報を担った。福岡県福岡市出身

10 月 28 日金曜から 30 日日曜までの 3 日間、岐阜にエンジン 01 がやって来る。エンジン 01 in 岐阜というイベントだ。エンジン 01? 聞いたことのない方が多いだろう。文化、芸術、スポーツから経済など、各分野の第一線で活躍する表現者・思考者たちが日本文化のさらなる深まりと広がりを目指すに参集したボランティア集団で、2001 年の創設以来 20 年以上活動してきている。

メンバーは、幹事長の林真理子(作家)を筆頭に、湯川れい子(音楽評論家)、三枝成章(作曲家)、有森裕子(元プロマラソン選手)、日比野克彦(アーティスト)ちばてつや(漫画家)など、多士済々で 200 人以上に及ぶ。

その団体が、毎年一度、参加可能なメンバーが東京以外の道府県へ赴き、コンサートや多様な講座を開くなど、「オープンカレッジ」という文化と学習の場を開くのだ。東海地区では、05 年豊橋、08 年名古屋、13 年浜松、また 15 年にはお隣の富山で行われてきた。それが、コロナ禍の影響で 4 年ぶりに岐阜で開かれる。昨年も開催予定で動いていたのだが、延期となった 2 年越しの実施である。

プログラムは次のようになっている。

<https://enjin01.gifu.jp/program/>

初日のオープニングシンポジウム、オープニングコンサートから、最終日のクロージングコンサート、クロージングシンポジウムまで、多くの講座が組まれているが、注目は、2 日目に岐阜大学を会場にして開かれる約 80 の「一般講座」だ。以下が詳しい内容。

https://enjin01.gifu.jp/documents/program/02_enjin_college_program.pdf

これだけ多種多様な講座があると、誰しもどこか関心のあるものがあるはずだ。実は、わたしも会員のひとりであり、今回岐阜へ伺うことになっている。茂木健一郎(脳科学者)が企画する「偏差値」に関する講座をはじめ、3 つの講座を担当する予定だ。

先生方にも、是非このイベントに興味を持ってほしい。生涯学習の時代だ。児童生徒に教えるだけでなく、ご自身も学習者として学びの意欲をかき立ててほしいのである。今や、教師が「教える人」、児童生徒が「学ぶ人」と役割を分けている時代ではない。教師も、「教える人」であると同時に「学ぶ人」でなければ、学校における探究型の学習だってうまくいかないのは当然だ。

「偏差値」のような教育関係の講座より、むしろ「日本の防衛、安全保障」「シュレーベルの魅力」「人間のアート力」「スポーツの未来」「資本主義の賞味期限」「ウクライナ侵略戦争」「LGBTQ」「オペラの楽しみ方」「民主主義の荒廃」「動物愛護」「メタバース」「マンガの力」「80 歳の壁」「SDGs」「台湾危機」「コロナ後の世界」「もの言う株主」「人生 100 年時代の楽しみ方」…といった硬軟取り混ぜた各方面の問題に触れることで、先生方自身の人間の幅を広げていただく機会になるといい。

学ぶことの楽しさを知る大人だけが、子どもに学ぶことの楽しさを伝えることができる。自分が知らなかった分野、知りたかった分野に関する講座を積極的に受講すると、学ぶ楽しさが実感できると思う。

わたしが最も尊敬する教育学者である、東京大学教育学部長、都留文科大学学長を歴任された大田堯先生(1918～2018)は、既に戦後間もない 1940 年代後半から生涯学習の重要性を唱えた先駆者だ。人間は自発的に多様なものを学ぶ唯一の動物だ、と先生は常々おっしゃっていた。エンジン 01 という学びの絶好のチャンスを、先生方にも生かしてもらいたい。